

## ■「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」について

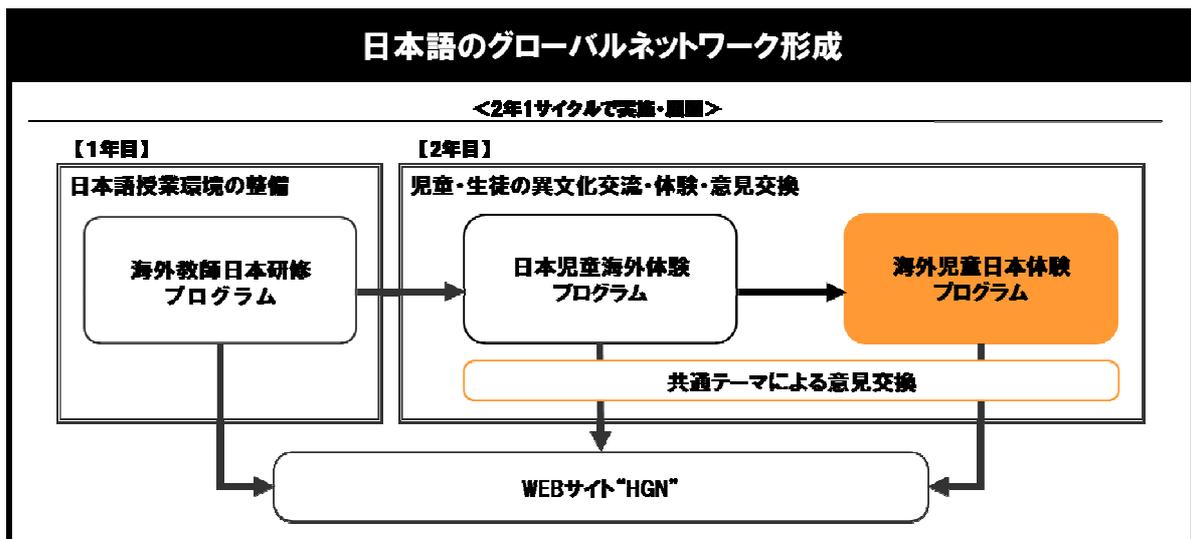
### <事業目的>

日本語による異文化体験や国際交流を通して、海外の児童・生徒の日本への理解を深め、また、日本の児童・生徒の国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

### <事業構造>

本事業は、下記図のとおり、3つのプログラムとウェブサイトで構成されています。

日本の児童・生徒と、海外で日本語を学ぶ児童・生徒との交流を軸に、一定のサイクルで実施。海外での日本語授業の環境整備のための活動とメディア展開により、日本語のグローバルネットワークを形成していきます。



## ■博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)について

公益財団法人 博報児童教育振興会は、株式会社博報堂が教育雑誌の広告取次業として1895年に創業以来、次代を担う児童の育成を重視して教育・文化面において行ってきた数々の後援事業の精神を引き継ぎ、1970年に財団法人博報児童教育振興会として設立されました。以来、次代を担う子どもたちの「豊かな人間性育成」の支援を目的に活動を続けています。新公益法人制度の施行に伴い、公益財団法人として認定され、2011年4月、博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)としてスタートしました。(基本財産368億円/2011年度)